

取扱説明書 - 日本語



ServerView Suite

ServerView System Monitor

2013年2月版

DIN EN ISO 9001:2008 に準拠した 認証を取得

高い品質とお客様の使いやすさが常に確保されるように、

このマニュアルは、DIN EN ISO 9001:2008

基準の要件に準拠した品質管理システムの規定を

満たすように作成されました。

cognitas. Gesellschaft für Technik-Dokumentation mbH

www.cognitas.de

著作権および商標

Copyright © 1998 – 2013 Fujitsu Technology Solutions.

All rights reserved.

お届けまでの日数は在庫状況によって異なります。技術的修正の権利を有します。

使用されているハードウェア名とソフトウェア名は、各メーカーの商標名および商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、および Hyper V は、米国およびその他の国における

Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Intel および Xeon は、米国 Intel Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国にお

ける登録商標または商標です。

目次

目次	3
1 はじめに	5
1.1 このマニュアルの対象読者と目的	5
1.2 以前のマニュアルからの変更点	6
1.3 ServerView Suite リンク集	6
1.4 ServerView Suite のマニュアル	8
1.5 表記規則	8
2 ServerView System Monitor のメインウィンドウ	11
2.1 監視オプション(ダイアログボックス)	13
2.1.1 監視オプション(タブ)	14
2.1.2 アラームオプション(タブ)	16
2.1.3 メール(タブ)	17
2.1.3.1 メール 変数	20
2.2 「システム」メニュー	22
2.2.1 「環境」サブシステム	24
2.2.1.1 ファン	24
2.2.1.2 ファン構成	25
2.2.1.3 温度センサ	26
2.2.2 「電源」サブシステム	27
2.2.2.1 電源	27
2.2.2.2 パワーレベル	28
2.2.2.3 冗長	29
2.2.2.4 構成	31
2.2.3 「外部記憶装置」サブシステム	32
2.2.3.1 外部記憶装置アダプタ	32
2.2.3.2 ServerView RAID システム	33
2.2.3.3 RAID アダプタ	34
2.2.3.4 RAID 論理ドライブ	35
2.2.3.5 RAID 物理ディスク	36
2.2.3.6 S.M.A.R.T.	37
2.2.4 「システムボード」サブシステム	38
2.2.4.1 電圧	39
2.2.4.2 メモリモジュール	40
2.2.4.3 システムプロセッサ	41
2.2.4.4 BIOS セルフテスト	42
2.2.4.5 PCI スロット	43
2.2.4.6 Trusted Platform Module	44
2.2.5 「ネットワーク」サブシステム	45
2.2.5.1 ネットワークアダプタ	45
2.2.6 「ドライバモニタ」サブシステム	46

2.2.6.1 監視コンポーネント.....	46
3 ServerView System Monitor の使用.....	47
3.1 Windows で ServerView System Monitor を開く.....	48
3.2 Linux で ServerView System Monitor を開く.....	49
3.3 ServerView System Monitor を閉じる.....	50
3.4 監視オプションの定義.....	51
3.5 システム情報の表示.....	52
3.6 ステータスアイコン.....	53

1 はじめに

ServerView System Monitor は、ServerView Suite のコンポーネントです。ServerView System Monitor では、ローカルで以下のサーバ情報やステータスの確認を行うことができます。

- ファンおよび温度センサなどの環境の情報(24 ページの「[環境](#)」サブシステムを参照)。
- 電源ユニットの情報(27 ページの「[電源](#)」サブシステムを参照)。
- 外部記憶装置の情報。この情報は、ServerView RAID Manager がシステムにインストールされている場合のみ利用できます(32 ページの「[外部記憶装置](#)」サブシステムを参照)。
- システムボードの情報(38 ページの「[システムボード](#)」サブシステムを参照)。
- ネットワークの情報(45 ページの「[ネットワーク](#)」サブシステムを参照)。
- ドライブモニタの情報(46 ページの「[ドライブモニタ](#)」サブシステムを参照)。

ServerView System Monitor は、ServerView エージェントをインストールすると Windows および Linux OS で使用できます。

1.1 このマニュアルの対象読者と目的

本書は、システム管理者およびネットワーク管理者、ハードウェアおよびソフトウェアの基礎知識のあるサービス技術担当者を対象としています。

1.2 以前のマニュアルからの変更点

この版は、2013 年2 月バージョンの ServerView System Monitor のにのみ有効であり、『ServerView System Monitor』オンラインマニュアル 2012 年 07 月版を更新したものです。

1.3 ServerView Suite リンク集

リンク集により、富士通は ServerView Suite および PRIMERGY サーバに関するさまざまなダウンロードや詳細情報を提供します。

ServerView Suite には、以下のトピックに関するリンクがあります。

- サポートデスク
- マニュアル
- 製品情報
- セキュリティ情報
- ソフトウェアのダウンロード



ダウンロードには以下が含まれます。

- ServerView Suite の現在のソフトウェアステータスおよびその他の Readme ファイル。
- ServerView Update Manager により PRIMERGY サーバをアップデートする場合、および ServerView Update Manager Express により個々のサーバをローカルでアップデートする場合の、システムソフトウェアコンポーネントの情報ファイルおよびアップデートセット。
- ServerView Suite のすべてのドキュメントの最新バージョン。

ダウンロードは富士通 Web サーバから無償で入手できます。

PRIMERGY サーバには、以下のトピックに関するリンクがあります。

- サポートデスク
- マニュアル

- 製品情報
- スペアカタログ

リンク集へのアクセス

ServerView Suite のリンク集へアクセスする方法はいくつかあります。

1. ServerView Operations Manager から。

- 開始ページまたはメニューバーで「ヘルプ」-「リンク」を選択します。

ServerView リンク集の開始ページが開きます。

2. ServerView Suite DVD 2 から、または 富士通マニュアルサーバで ServerView Suite のオンラインドキュメントの開始ページを使用する。



次のリンクを使用して、オンラインドキュメントの開始ページにアクセスします。

<http://support.ts.fujitsu.com>

- 左側の選択リストで「**Industry standard servers**」を選択します。
- メニュー項目「**PRIMERGY ServerView Links**」をクリックします。

ServerView リンク集の開始ページが開きます。

3. ServerView Suite DVD 1 から。

- ServerView Suite DVD 1 の開始ウィンドウで、「**Select ServerView Software Products**」を選択します。
- 「**Start**」をクリックします。ServerView Suite のソフトウェア製品が表示されるページが開きます。
- メニューバーで「**Links**」を選択します。

ServerView リンク集の開始ページが開きます。

1.4 ServerView Suite のマニュアル

ServerView Suite のマニュアルは、各サーバシステムに付属の ServerView Suite DVD 2 に収録されています。

マニュアルはインターネットからも無料でダウンロードできます。インターネットのオンラインドキュメントは、<http://manuals.ts.fujitsu.com> の「*Industry standard servers*」のリンク先からダウンロードできます。

1.5 表記規則

このマニュアルでは以下の表記規則を使用します:

表記	説明
	データの損失やデバイスの損傷の可能性があるリスクを表示します。
	追加関連情報とヒントを表示します。
太字	インターフェイス要素の名前を示します。
等間隔表示	パスおよびファイル名など、出力やシステム要素を示します。
太字の等間隔表示	キーボードを使用して入力するテキストを示します。
青字の文字列	関連するトピックへのリンクを示します。
ピンク字の文字列	既に表示したリンクを示します。

表記	説明
<abc>	実際の値と置き換える必要がある変数を示します。
[abc]	オプション(構文)を示します。
[key]	キーボード上のキーを示します。大文字のテキストを入力する場合、[Shift] キーを指定します。たとえば、A を入力する場合 [SHIFT] + [A] を押します。2 つのキーを同時に押す場合は、2 つのキーをプラス記号で連結して示します。

マニュアルおよび実際の画面

ServerView Suiteの画面はシステムに依存しているため、表示される詳細はシステムによって異なる場合があります。また、システム固有の差異は、メニューオプションとコマンドに関連している場合があります。画面は予告なく変更となる場合があります。その場合は各画面のヘルプを参照して下さい。

2 ServerView System Monitor のメインウィンドウ

パスワード認証がアクティブなサーバで ServerView System Monitor を起動する場合、有効なユーザ名/パスワードを入力してアクセスを取得する必要があります。ログインデータはサーバのオペレーティングシステムによって異なります。48 ページの [Windows で ServerView System Monitor を開く](#) または 49 ページの [Linux で ServerView System Monitor を開く](#) を参照してください。

起動すると、メインウィンドウが開きます。

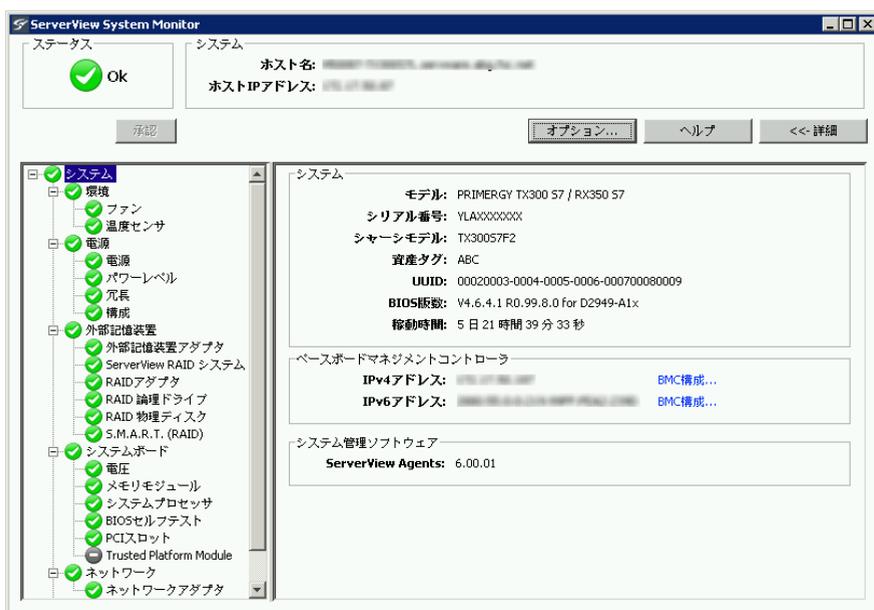


図 1: ServerView System Monitor – メインウィンドウ

メインウィンドウには以下のエリアがあります。

- ステータスの表示(ステータス)

アイコンは、サーバのステータスを示します。アイコンの意味については、53 ページの [ステータスアイコン](#) の項を参照してください。

- サーバのホスト名、IP アドレス(システム)

- 「承認」ボタン

このボタンは、ステータスが「異常」または「警告」の場合のみ有効です。この場合、アプリケーションエリアおよびタスク通知エリアで点滅します。アラーム音が設定されている場合、管理対象サーバで音が鳴ります。「承認」ボタンをクリックしてアラームを確定すると、音とアイコンの点滅が停止します。

- 「オプション...」ボタン

「オプション...」ボタンをクリックすると、「監視オプション」ダイアログボックスが開きます。13 ページの [監視オプション\(ダイアログボックス\)](#) の項を参照してください。

- 「ヘルプ」ボタン

「ヘルプ」ボタンをクリックすると、ServerView System Monitor のメインのヘルプページが開きます。Linux の場合は、ヘルプページを表示するために Web ブラウザの Firefox をインストールする必要があります。

- 「<<- 詳細 (詳細 ->>)」ボタン

「詳細」ボタンをクリックすると、各種サーバコンポーネントの詳細情報の表示・非表示を設定できます。デフォルトでは詳細情報が表示されます。

表示は 2 つのセクションに分割されていて、左側のセクションには詳細情報にアクセスするためのメニューがあります。メニューを選択して、右側のセクションで内容を表示します。

2.1 監視オプション(ダイアログボックス)

「監視オプション」では、以下の定義ができます。

- 「監視オプション」タブでは、メインウィンドウの表示形式およびその更新間隔を設定できます。14 ページの [監視オプション\(タブ\)](#) の項を参照してください。
- 「アラームオプション」タブでは、アラーム設定を定義できます。16 ページの [アラームオプション\(タブ\)](#) の項を参照してください。
- 「メール」タブでは、メール設定を定義できます。17 ページの [メール\(タブ\)](#) の項を参照してください。

各タブでは以下のボタンを使用します。

Ok

「Ok」ボタンをクリックすると設定を確定します。

キャンセル

「キャンセル」ボタンをクリックすると、変更内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

ヘルプ

「ヘルプ」ボタンをクリックすると、「監視オプション」ダイアログボックスのヘルプページが開きます。

2.1.1 監視オプション(タブ)

「監視オプション」タブでは、メインウィンドウの表示形式や更新間隔を設定できます。

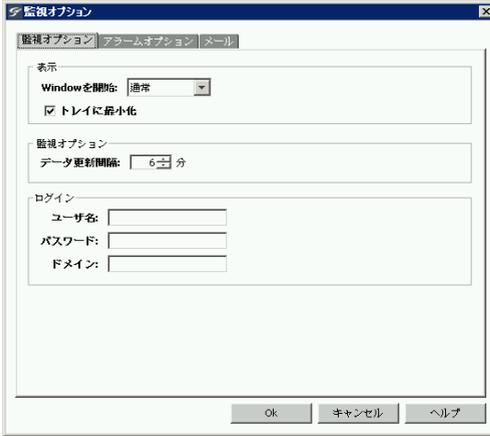


図 2: 「監視オプション」タブ

表示

Window を開始

メインウィンドウを、**通常**、**小**、または**トレイ**に表示します。「**トレイ**」を選択すると、開始ウィンドウはデスクトップに表示されず、情報エリアにアイコンとして表示されます。

トレイに最小化

このオプションを選択した場合、メインウィンドウをアイコン化すると、アイコンのみ情報エリアに表示され、タスクバーのボタンは表示されません。

監視オプション

「**データ更新間隔**」で、更新間隔を設定します。デフォルト値: 1 分

ログイン

「**ログイン**」にユーザ認証用のログインデータを定義します。このデータがない、または不正な場合、ServerView System Monitor は「**ログイン**」ダイアログボックスを自動的に表示して、ログイン情報を入力するように求めます。

ユーザ名

サーバにログインするためのユーザ名を入力します。

パスワード

サーバにログインするためのパスワード。

ドメイン

サーバのドメイン名を入力します。このフィールドは、Linux オペレーティングシステムでローカルでログインすると省略されるのでご注意ください。

-  ログインデータは、デフォルトでは「**監視オプション**」タブの「**ログイン**」フィールドの定義に従って表示されます。「**ログイン**」フィールドの設定をクリアすると、次に ServerView System Monitor を起動したときに「**ログイン**」ダイアログボックスが表示されます。

2.1.2 アラームオプション(タブ)

「アラームオプション」タブでアラームオプションを設定します。

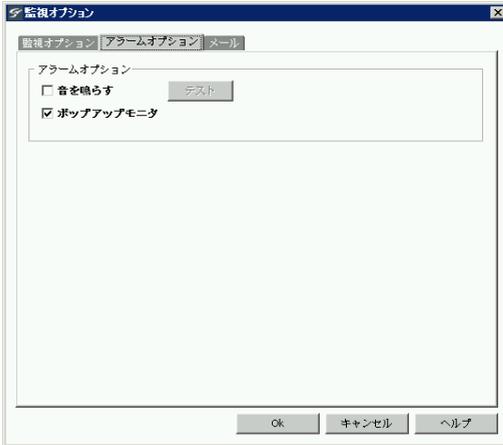


図 3: 「アラームオプション」タブ

音を鳴らす

このオプションを選択すると、サーバがエラーまたは警告状態になった場合に、サーバが自ら音を鳴らします。

「テスト」ボタンを押して音をテストできます。

- ❗ ServerView System Monitor が起動されていない場合や、ユーザがサーバにログオンしていない場合でも、音は鳴ります。ブレードサーバ、また、サーバモデルによっては音が鳴らないものもあります。

このオプションの選択を解除すると、音が鳴らなくなります。

ポップアップモニター

このオプションを選択すると、サーバがエラーまたは警告状態になった場合に、メインウィンドウが前面に表示されます。

2.1.3 メール(タブ)

「メール」タブでは、メール形式のパラメータおよび SMTP 設定を定義します。

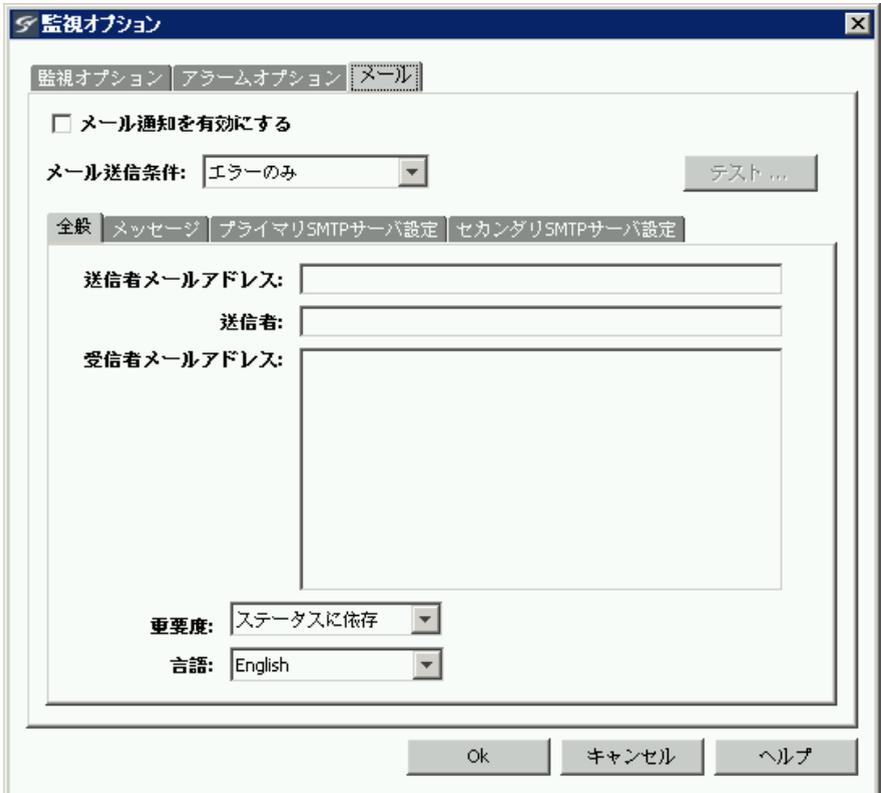


図 4: 「メール」タブ

メール通知を有効にする

メール通知を使用する場合は、このオプションを有効にします。

-  このオプションが有効な場合、System Monitor が実行中でなくてもメール通知が送信されます。

メールを受信したら Operations Manager または System Monitor で事象を確認して下さい。

メール送信条件

メール送信時のイベントを次の中から選択します：**エラーのみ、エラーと警告のみ、すべて**

「テスト...」ボタンをクリックすると、定義した設定でテストメールを送信できます。

全般(タブ)

送信者メールアドレス

送信者の電子メールアドレス。

送信者

送信者の名前。

受信者メールアドレス

受信者の電子メールアドレス。

重要度

メールの優先度を次の中から選択します：**ステータスに依存、低、標準、高**

言語

メールの言語を次の中から選択します：**English、German、French-Canadian、日本語**

メッセージ(タブ)

件名

メールの件名。

本文

メールの本文。

変数...

メールの変数を表示します([20 ページのメール変数](#))。

リセット...

「リセット...」ボタンをクリックすると、行った変更が元に戻され、設定がデフォルト値に戻ります。

プライマリ SMTP サーバ設定(タブ)

SMTPサーバ

SMTP サーバの IP アドレス。

ポート

SMTP サーバのポート番号。

認証

メールの送信に認証が必要かどうかを選択します。

認証を行わない

認証は使用しません。

認証を行う(RFC 2554)

認証を使用します。ユーザ名とパスワード、パスワード確認を入力する必要があります。

ユーザ名

メールサーバにログオンするためのユーザ ID。

パスワード/パスワード確認

メールサーバにログオンするためのパスワード。

セカンダリ SMTP サーバ設定(タブ)

プライマリ SMTP サーバへのメール送信が失敗した場合に、セカンダリ SMTP サーバが使用されます。

SMTPサーバ

SMTP サーバの IP アドレス。

ポート

SMTP サーバのポート番号。

認証

メールの送信に認証が必要かどうかを選択します。

認証を行わない

認証は使用しません。

認証を行う(RFC 2554)

認証を使用します。ユーザ名とパスワード、パスワード確認を入力する必要があります。

ユーザ名

メールサーバにログオンするためのユーザ ID。

パスワード/パスワード確認

メールサーバにログオンするためのパスワード。

2.1.3.1 メール変数

メールの変数をメールの件名と本文に使用して、実際のサーバパラメータを含めることができます。メッセージ変数の形式は通常 **\$(変数名)** です。

一般変数

\$(Date)

メールが作成された実際の日付が含まれます。形式は言語設定に依存します。

\$(Time)

メールが作成された実際の時刻が含まれます。形式は言語設定に依存します。

ホスト固有の変数

\$(HostName)

メールが作成されたサーバのホスト名が含まれます。

\$(HostNameFQ)

メールが作成されたサーバの完全修飾ホスト名が含まれます。

\$(HostIPAddress)

メールが作成されたサーバのプライマリホスト IP アドレスが含まれます。システムに IPv4 および IPv6 アドレスが含まれる場合、最初の IPv4 アドレスが使用されます。

\$(HostIPv4Address)

メールが作成されたサーバのプライマリホスト IPv4 アドレスが含まれます。システムに IPv4 インターフェースが含まれない場合、この値は空です。

\$(HostIPv6Address)

メールが作成されたサーバのプライマリホスト IPv6 アドレスが含まれます。システムに IPv6 インターフェースが含まれない場合、この値は空です。

コンポーネント固有の変数

\$(ComponentName)

メールを送信させた **Fan**、**Sensor**、**Voltage** などのコンポーネントの名前が含まれます。値は英語です。

\$(ComponentStatus)

コンポーネントのステータスが含まれます。ステータスのテキストは、言語設定で指定した言語に翻訳されます。典型的な英語の値には、**OK**、**Warning**、**Critical** があります。

\$(ComponentDesignation)

Fan CPU(**Fan** コンポーネントの場合) や **VBatt**(**Voltage** コンポーネントの場合) などの、コンポーネントの名称が含まれます。値は英語です。

システム固有の変数

\$(SystemStatus)

グローバルシステムステータスのテキストが含まれます。ステータスの文字列は、言語設定で指定した言語に翻訳されます。典型的な英語の値には、**OK**、**Warning**、**Critical** があります。

\$(SystemModel)

PRIMERGY TX300S7 などのサーバのモデル名が含まれます。

\$(SystemSerialNr)

YKAX123456 などのシステムのシリアル番号が含まれます。

\$(SystemAssetID)

システムに設定されたシステム資産 ID が含まれます。

2.2 「システム」メニュー

「システム」メニューでは、サーバの全般的なステータスがルートノードとして表示されます。



図 5: 「システム」メニュー

システム

モデル

サーバモデル。

シリアル番号

シリアル番号。

資産タグ

サーバの資産タグ。

UUID

サーバの Universal Unique Identifier (UUID)。

BIOS 版数

サーバの BIOS のバージョン。

稼働時間

サーバの稼働時間。

ベースボードマネジメントコントローラ

マネジメントコントローラの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

「**BMC 構成 ...**」リンクをクリックすると、BMC の Web ユーザーインターフェースが起動され、ベースボードマネジメントコントローラ (BMC) を設定できます。

システム管理ソフトウェア

ServerView Agents

ServerView Agents のバージョン。

ツリーを展開すると、サブシステムおよびコンポーネントが表示されます。このツリーで、右側のセクションに表示する項目を選択します。以下のサブシステムの情報を表示します。

- ファンおよび温度センサなどの環境の情報([24 ページの「環境」サブシステム](#)を参照)。
- 電源ユニットの情報([27 ページの「電源」サブシステム](#)を参照)。
- 外部記憶装置の情報。この情報は、ServerView RAID Manager がシステムにインストールされている場合のみ利用できます([32 ページの「外部記憶装置」サブシステム](#)を参照)。
- システムボードの情報([38 ページの「システムボード」サブシステム](#)を参照)。
- ネットワークの情報([45 ページの「ネットワーク」サブシステム](#)を参照)。
- ドライブモニタの情報([46 ページの「ドライブモニタ」サブシステム](#)を参照)。



ユーザのシステムによっては、表示されない情報があります。

2.2.1 「環境」サブシステム

「環境」サブシステムには、選択したサブシステムとそのステータスが表示されます(53 ページの [ステータスアイコン](#) も参照)。ファンまたは温度センサの詳細情報については、該当するコンポーネントを選択してください。

2.2.1.1 ファン

「ファン」コンポーネントには、ファンのステータス、名称、ファンタイプ、速度が表示されます。

ファンの詳細:			
ステータス	名称	ファンタイプ	スピード (%)
Ok	FAN1 SYS	System	97
Ok	FAN2 SYS	System	100
Ok	FAN3 SYS	System	100
Ok	FAN4 SYS	System	100
Not Present	FAN5 SYS	System	
Not Present	FAN6 SYS	System	
Not Present	FAN PSU1	Power Supply	
Ok	FAN PSU2	Power Supply	100
Ok	FAN PSU3	Power Supply	100
Ok	FAN PSU4	Power Supply	100

図 6: 「ファン」ビュー

2.2.1.2 ファン構成

「ファン構成」コンポーネントには、ファンのステータス、名称、ファンタイプが表示されます。

ステータスが「OK」でない場合、ステータスアイコンの後に情報が表示されません。この情報は、ステータスが「OK」の場合は表示されません。

ファン構成

Status: **Ok**

ファンの詳細:

ステータス	名称	ファンタイプ
Ok	FAN1 SYS	System
Ok	FAN2 SYS	System
Ok	FAN3 SYS	System
Ok	FAN4 SYS	System
Not Present	FAN5 SYS	System
Not Present	FAN6 SYS	System
Not Present	FAN PSU1	Power Supply
Ok	FAN PSU2	Power Supply
Ok	FAN PSU3	Power Supply
Ok	FAN PSU4	Power Supply

図 7: 「ファン構成」ビュー

2.2.1.3 温度センサ

「温度センサ」コンポーネントには、温度センサのステータス、名称およびタイプと、温度が表示されます。

The screenshot shows the 'Temperature Sensors' component selected in the left-hand tree view. The right-hand pane displays a table titled 'センサの詳細:' (Sensor Details) with the following data:

ステータス	名称	センサタイプ	温度 (°C)
Ok	Ambient	Ambient Sensor	26
Ok	Systemboard 1	IO board Sensor	26
Ok	Systemboard 2	IO board Sensor	36
Ok	CPU1	CPU Sensor	36
Ok	CPU2	CPU Sensor	42
Ok	MEM A	In house Sensor	30
N/A	MEM B	In house Sensor	
N/A	MEM C	In house Sensor	
N/A	MEM D	In house Sensor	
Ok	MEM E	In house Sensor	30
N/A	MEM F	In house Sensor	
N/A	MEM G	In house Sensor	
N/A	MEM H	In house Sensor	
N/A	PSU1 Inlet	Power Plane Sensor	
Ok	PSU2 Inlet	Power Plane Sensor	29
Ok	PSU3 Inlet	Power Plane Sensor	30

図 8: 「温度センサ」ビュー

2.2.2 「電源」サブシステム

「電源」サブシステムには、選択したサブシステムとそのステータスが表示されます。53 ページの [ステータスアイコン](#) も参照してください。電源、パワーレベル、冗長、構成の詳細については、該当するコンポーネントを選択してください。

2.2.2.1 電源

電源コンポーネントには、電源のステータス、名称、定格電力のステータス、現在の電力ステータスが表示されます。

ステータス	名称	公称値 (W)	現在の電力 (W)
Not Present	PSU1		
Ok	PSU2	450	40
Ok	PSU3	450	30
Ok	PSU4	450	35

図 9: 「電源」ビュー

2.2.2.2 パワーレベル

「パワーレベル」コンポーネントには、パワーレベルのステータスおよび消費電力が表示されます。



図 10: 「パワーレベル」ビュー

ステータス

アイコンは、電源のステータスを示します。53 ページの [ステータスアイコン](#) の項を参照してください。

電力制御

設定されたモード

iRMC S2/S3 で設定された電力制御モードを表示します。

オプション(電力制限を設定している場合のみ表示されます)

電力制限を表示します。

動作状態

iRMC S2/S3 が PRIMERGY サーバの消費電力の制御に現在使用している電力制御モードを表示します。このオプションは、設定されたモードがスケジュールまたは性能優先動作の場合に表示されません。

消費電力データ

消費電力の現在値と最大値を表示します。

2.2.2.3 冗長

冗長コンポーネントには、電源冗長構成についての情報としきい値のステータスが表示されます。

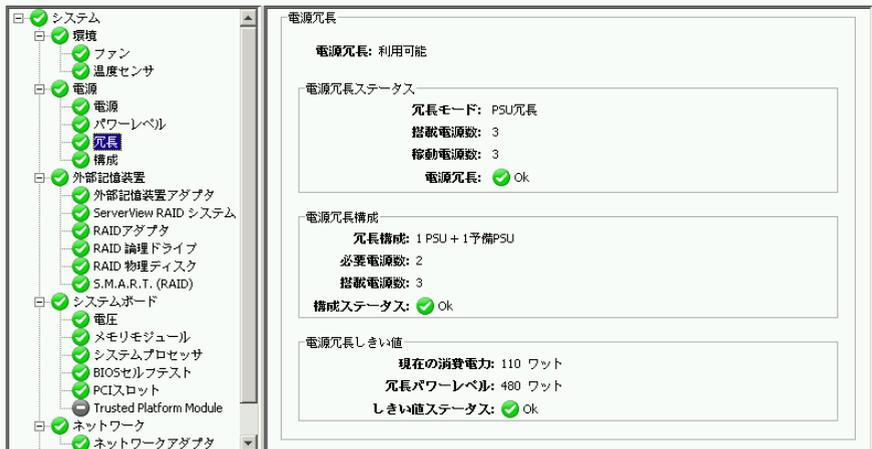


図 11: 冗長ビュー

電源冗長

電源冗長を使用可能かどうかを表示します(「利用可能」または「利用不可」)。

電源冗長ステータス

冗長モード

現在実行されている冗長モードとして、冗長なし、PSU冗長、2 AC冗長、3 AC冗長を表示します。

搭載電源数

サーバに接続されている電源の数を表示します。

動作中の電源

サーバ上で実行されている電源の数を表示します。

電源冗長

冗長ステータスを表示します。[53 ページのステータスアイコン](#)を参照してください。

電源冗長構成

冗長構成

次のいずれかの冗長モードの構成を表示します: 1 PSU + 1 予備 PSU、2 PSU + 1 予備 PSU、3 PSU + 1 予備 PSU、1 + 1(2 AC 電源)、2 + 2(2 AC 電源)

必要電源数

現在の構成に必要な電源の数を表示します。

入力されている電源

サーバに接続されている電源の数を表示します。

構成ステータス

構成ステータスを表示します。[53 ページのステータスアイコン](#)を参照してください。

電源冗長しきい値

冗長を可能にするしきい値を表示します。

現在の消費電力

現在の消費電力を表示します。

冗長パワーレベル

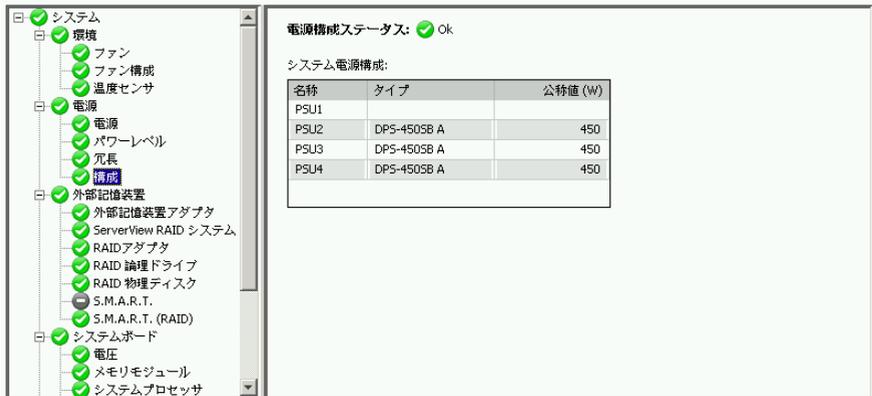
冗長を有効にするために許容される電力の最高レベルを表示します。

しきい値ステータス

しきい値ステータスを表示します。53 ページの [ステータスアイコン](#) を参照してください。

2.2.2.4 構成

構成コンポーネントでは、電源の名称、タイプ、定格電力が表示されます。



電源構成ステータス: ✔ Ok

システム電源構成:

名称	タイプ	公称値 (W)
PSU1		
PSU2	DPS-4505B A	450
PSU3	DPS-4505B A	450
PSU4	DPS-4505B A	450

図 12: 構成ビュー

2.2.3 「外部記憶装置」サブシステム

「外部記憶装置」サブシステムには、選択したサブシステムとそのステータスが表示されます(53 ページの [ステータスアイコン](#) も参照)。RAID システムおよび S.M.A.R.T. の詳細については、該当するコンポーネントを選択してください。

2.2.3.1 外部記憶装置アダプタ

「外部記憶装置アダプタ」コンポーネントには、アダプタのステータス、名称および場所が表示されます。

ステータス	名称	場所
Ok	RAID Ctrl 5AS 6G 5/6 512...	Slot 11
Ok	OCe10102-F	Slot 10
Ok	OCe10102-F	Slot 10
Ok	ICH10 SATA Controller 1	onboard
Ok	ICH10 SATA Controller 2	onboard

図 13: 「外部記憶装置アダプタ」ビュー

2.2.3.2 ServerView RAID システム

「ServerView RAID システム」コンポーネントには、選択したコンポーネントとそのステータスおよびバージョンが表示されます。

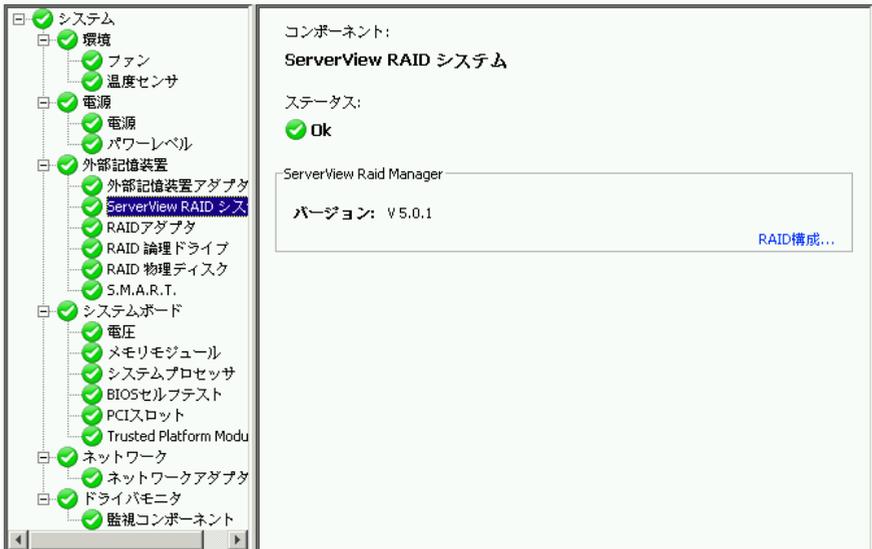


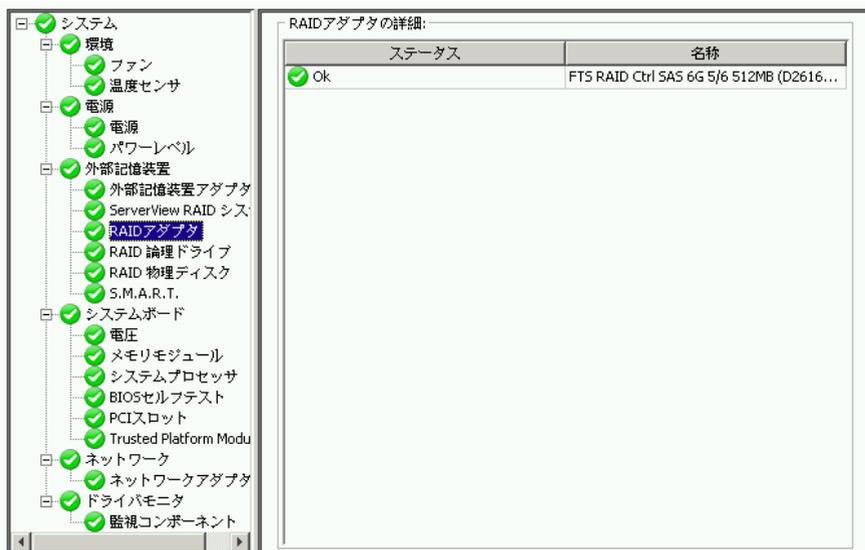
図 14: 「ServerView RAID システム」ビュー

「RAID 構成 ...」リンクをクリックすると、RAID システムを設定できます。

ServerView System Monitor の一部でない ServerView RAID Manager を呼び出します。詳細については、ServerView RAID Manager のユーザガイドを参照してください。

2.2.3.3 RAID アダプタ

「RAID アダプタ」コンポーネントには、RAID アダプタのステータスと名称が表示されます。



The screenshot displays the ServerView System Monitor interface. On the left, a tree view shows the system hierarchy with 'RAID アダプタ' (RAID Adapter) selected and highlighted in blue. The right pane, titled 'RAID アダプタの詳細:' (RAID Adapter Details), contains a table with the following data:

ステータス	名称
Ok	FTS RAID Ctrl SAS 6G 5/6 512MB (D2616...

図 15: 「RAID アダプタ」ビュー

2.2.3.4 RAID 論理ドライブ

「RAID 論理ドライブ」コンポーネントには、RAID 論理ドライブのステータスと名称が表示されます。

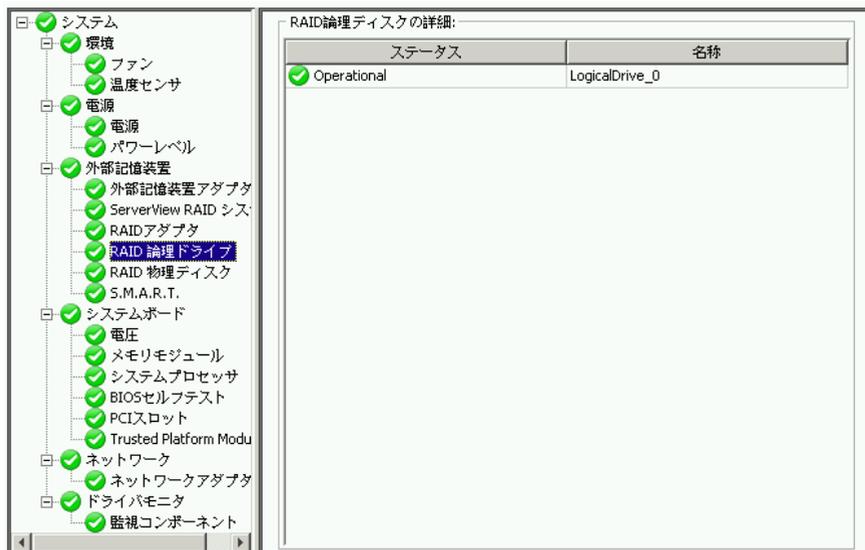
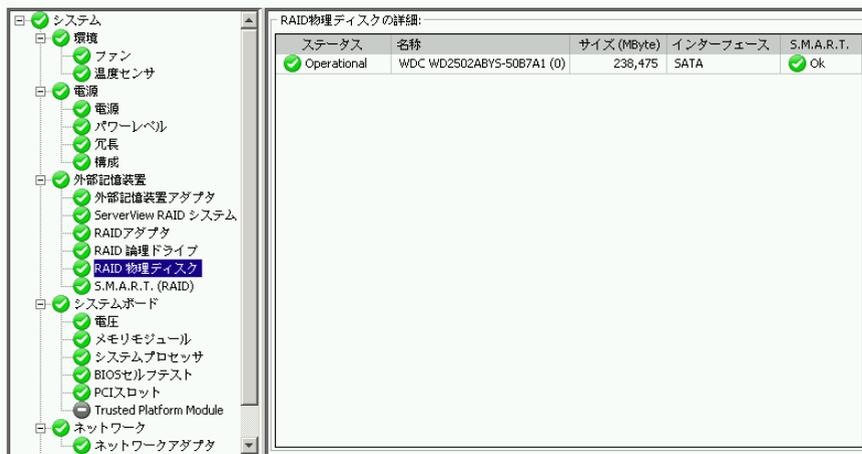


図 16: 「RAID 論理ドライブ」ビュー

2.2.3.5 RAID 物理ディスク

「RAID 物理ディスク」コンポーネントには、RAID 物理ディスクのステータス、名称、サイズ、インターフェースおよびS.M.A.R.T. ステータスが表示されます。



The screenshot displays the ServerView System Monitor interface. On the left, a tree view shows the system hierarchy, with 'RAID 物理ディスク' (RAID Physical Disk) selected and highlighted in blue. The main window on the right, titled 'RAID物理ディスクの詳細:' (RAID Physical Disk Details), contains a table with the following data:

ステータス	名称	サイズ (MByte)	インターフェース	S.M.A.R.T.
Operational	WDC WD2502ABYS-50B7A1 (0)	238,475	SATA	Ok

図 17: 「RAID 物理ディスク」ビュー

2.2.3.6 S.M.A.R.T.

「S.M.A.R.T.」コンポーネントには、選択したコンポーネントおよびそのステータスが表示されます。

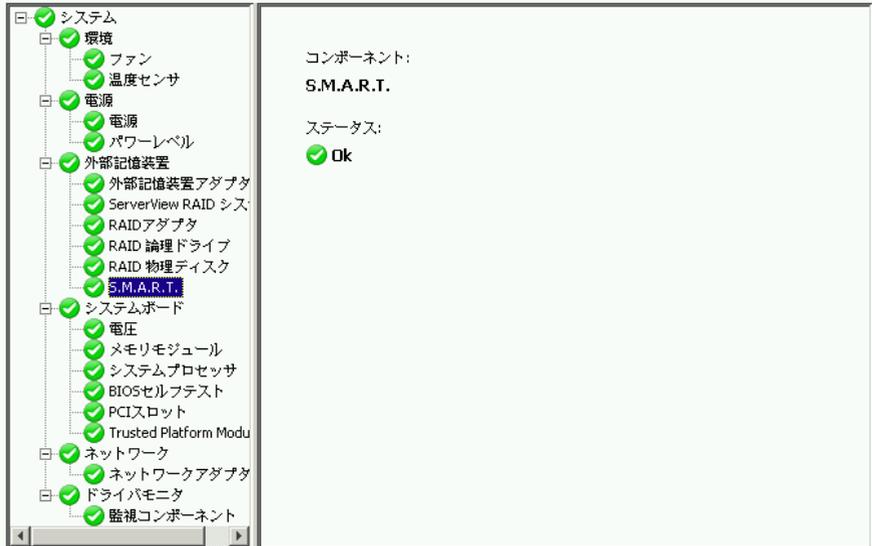


図 18: S.M.A.R.T. ビュー

2.2.4 「システムボード」サブシステム

「システムボード」サブシステムには、次の情報が表示されます。

- システムボードの情報

システムボードのシリアル番号、識別番号、BIOS バージョン。

- ベースボードマネジメントコントローラ (BMC) 情報

コントローラのモデル (iRMC S2、S3、またはBMC)、ファームウェアおよび IPv4/IPv6 アドレス。

「**BMC 構成...**」リンクからBMC のWeb ユーザーインターフェースを起動して、ベースボードマネジメントコントローラを設定できます。

電圧、メモリモジュール、システムプロセッサ、BIOS セルフテスト、PCI スロット、および Trusted Platform Module の詳細については、該当するコンポーネントを選択してください。

2.2.4.1 電圧

「電圧」コンポーネントには、電圧センサのステータスと名称、現在の電圧、最小電圧、最大電圧が表示されます。

ステータス	名称	現在値 (V)	最小値 (V)	最大値 (V)
Ok	BATT 3.0V	2.98	2.18	3.29
Ok	Main 3.3V STBY	3.37	2.95	3.63
Ok	Main 1.1V STBY	1.1	1.02	1.18
Ok	Main 12V	11.83	10.78	13.28
Ok	VIO CPU 3/4	1.13	0.98	1.27
Ok	Main 3.3V	3.26	2.99	3.63
Ok	IOH 1.8V	1.79	1.67	1.93
Ok	IOH 1.5V	1.47	1.38	1.61
Ok	IOH 1.1V	1.05	1.02	1.18
Ok	Main 1.8V	1.78	1.67	1.93
Ok	BMC 1.2V	1.19	1.1	1.28
Ok	LAN 1.0V	0.98	0.92	1.08
Ok	VIO CPU 1/2	1.13	0.98	1.27
Ok	PSU1 AC	233	75	255
N/A	PSU2 AC			
Ok	PSU3 AC	233	75	255
Ok	PSU4 AC	233	75	255

図 19: 「電圧」ビュー

2.2.4.2 メモリモジュール

「メモリモジュール」コンポーネントには、メモリモジュールのステータス、ソケット、タイプが表示されます。



図 20: 「メモリモジュール」ビュー

2.2.4.3 システムプロセッサ

「システムプロセッサ」コンポーネントには、プロセッサのステータス、ソケット、タイプ、および周波数が表示されます。



プロセッサの詳細:			
ステータス	ソケット	タイプ	周波数(MHz)
Ok	CPU1	Genuine Intel(R) C...	1,733
Ok	CPU2	Genuine Intel(R) C...	1,733
Ok	CPU3	Genuine Intel(R) C...	1,733
Ok	CPU4	Genuine Intel(R) C...	1,733

図 21: 「システムプロセッサ」ビュー

2.2.4.4 BIOS セルフテスト

「BIOS セルフテスト」コンポーネントには、選択したコンポーネントおよびそのステータスが表示されます。



図 22: 「BIOS セルフテスト」ビュー

エラーによってシステムイベントログに出力があることがアイコンで示される場合、「リセット」をクリックすると通常のステータスに戻すことができます。

2.2.4.5 PCIスロット

「PCIスロット」コンポーネントには、スロットのステータスと名称が表示されます。

The screenshot displays the 'PCIスロット' (PCI Slots) component in the ServerView System Monitor. The left pane shows a tree view of system components, with 'PCIスロット' selected. The right pane shows a table with the following data:

ステータス	名称
Ok	Slot1
Ok	Slot2
Ok	Slot3
Ok	Slot4
Ok	Slot5
Ok	Slot6
Ok	Slot7
Ok	Slot8
Ok	Slot9
Ok	Slot10

図 23: 「PCI スロット」ビュー

2.2.4.6 Trusted Platform Module

「Trusted Platform Module」コンポーネントには、選択したコンポーネントとそのステータスおよび設定に関する情報が表示されます。



図 24: 「Trusted Platform Module」ビュー

構成

ハードウェア利用可/不可

Trusted Platform Module 機能を有効または無効にします。

TPM 状態

Trusted Platform Module (TPM) のステータスを表示します。

所有権が設定されている

Trusted Platform Module (TPM) の所有者のステータスを表示します。

2.2.5 「ネットワーク」サブシステム

「ネットワーク」サブシステムには、選択したサブシステムとそのステータスが表示されます(53 ページの [ステータスアイコン](#)も参照)。

2.2.5.1 ネットワークアダプタ

「ネットワークアダプタ」コンポーネントには、ネットワークアダプタのステータス、名称および場所が表示されます。



図 25: 「ネットワークアダプタ」ビュー

2.2.6 「ドライバモニタ」サブシステム

「ドライバモニタ」サブシステムには、選択したサブシステムとそのステータスが表示されます(53 ページのステータスアイコンも参照)。

2.2.6.1 監視コンポーネント

「監視コンポーネント」には、監視コンポーネントのステータス、名称および場所が表示されます。

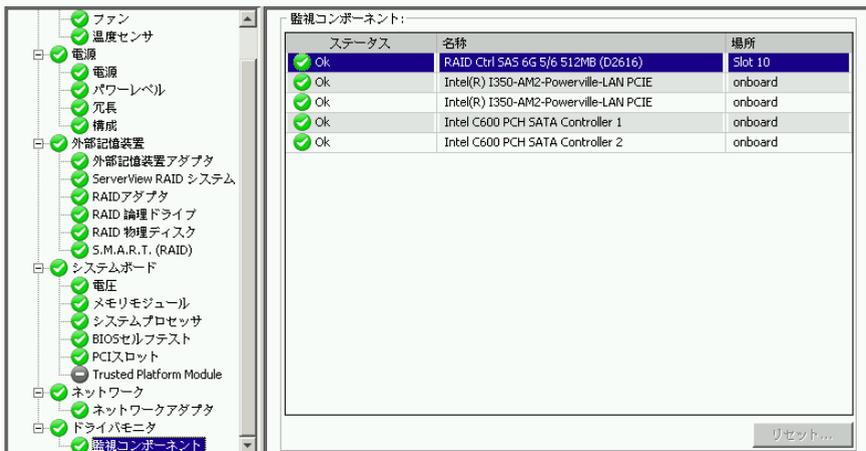


図 26: 「監視コンポーネント」ビュー

エラーによってシステムイベントログに出力があることがアイコンで示される場合、「リセット ...」をクリックすると通常のステータスに戻すことができます。

3 ServerView System Monitor の使用

ServerView System Monitor は、ServerView エージェントをインストール済みのサーバにおいて、Windowsおよび Linuxオペレーティングシステムで使用できます。これは、ServerView Suite DVD 1 を使用して行います。

- Windows へのインストールについては、インストールガイド『Installation ServerView Agents for Windows』を参照してください。
- Linux へのインストールについては、インストールガイド『Installation ServerView Agents for Linux』を参照してください。

詳細は、ServerView Agents for Windows または for Linux の readme ファイルを参照してください。

要件

- Sun/Oracle Java Runtime Environment (JRE) バージョン 1.6.0_25 をサーバにインストールする必要があります。
- RAID 情報を表示するには、ServerView RAID Manager をサーバにインストールする必要があります。

Linux の追加要件

- X11 ベースのグラフィカルデスクトップ環境。KDE および GNOME デスクトップ環境をサポートします。
- オンラインヘルプページを表示するには、現行バージョンの Firefox Web ブラウザをインストールする必要があります。
- 64 ビット OS を使用している場合は、64 ビットの JRE を使用してください。

3.1 Windows で ServerView System Monitor を開く

Windows の「スタート」メニューから ServerView System Monitor を起動します。

Windows 2003 の場合次のように選択します:「スタート」-「プログラム」-「Fujitsu」-「ServerView Suite」-「Agents」-「System Monitor」

Windows 2008 の場合次のように選択します:「スタート」-「すべてのプログラム」-「Fujitsu」-「ServerView Suite」-「Agents」-「System Monitor」

起動時に次のダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスは、セキュリティを使用せずに(セキュリティなし)ServerView agents for Windows をインストールした場合は表示されません。ターゲットサーバのローカルユーザのユーザ名とパスワードを入力するか(ドメイン入力フィールドには何も入力しません)、Windows ドメインの Active Directory ユーザのユーザ名とパスワードを入力します。

ServerView Configuration Tools を使用して、ターゲットサーバでパスワード認証を設定できます。

-  **ServerView ユーザグループ**が(Agent Configuration で) 指定されている場合、ログインユーザはこのグループのメンバーである必要があります。ユーザグループが指定されていない場合、ユーザは **Administrators** グループのメンバーである必要があります。そのグループのメンバーでないユーザは(正しくログインしている場合でも) 除外されます。

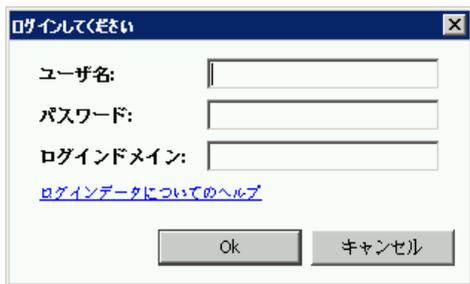


図 27: ServerView System Monitor - ログインダイアログボックス

ユーザ名

サーバにログインするためのユーザ名を入力します。

パスワード

サーバにログオンするためのパスワード。

ログインドメイン

サーバのドメイン名を入力します。

 デフォルトでは、「監視オプション」ダイアログボックスの「監視オプション」タブにあるログインの定義に従って、ログインデータが表示されます。

「ログインデータについてのヘルプ」リンクをクリックすると、ログインデータに関するヘルプ情報が表示されます。

3.2 Linux で ServerView System Monitor を開く

次の手順で ServerView System Monitor を起動します。

1. KDE または GNOME デスクトップ環境にログインします。
2. デスクトップで連結キー[Alt]+[F2]を押して、コマンドウィンドウで `ssm` と入力します。
3. 次に [Enter] を押します。

また、通常の端末ウィンドウを開くこともできます。

1. コマンド `ssm` を入力します。
2. 次に [Enter] を押します。

起動時に次のダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスは、セキュリティを使用せずに ServerView agents for Linux をインストールした場合は表示されません。ターゲットサーバのユーザデータベースのユーザのユーザ名とパスワードを入力します。ターゲットサーバの `/etc/srvmagt/config` ファイルでパスワード認証を設定できます(エージェントセットアップパッケージの `readme` ファイルを参照)。

 **ServerView ユーザグループ**が(Agents のConfファイルで) 指定されている場合、ログインユーザはこのグループのメンバーである必要があります。ユーザグループが指定されていない場合、ユーザは `bin` グループのメンバーである必要があります。そのグループのメンバーでないユーザは(正しくログインしている場合でも) 除外されます。

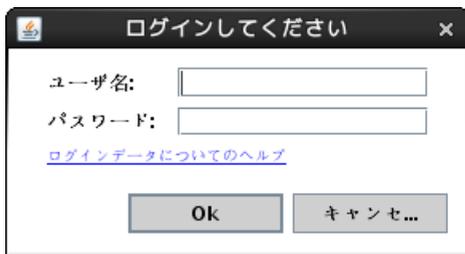


図 28: ServerView System Monitor - ログインダイアログボックス

ユーザ名

サーバにログインするためのユーザ名を入力します。

パスワード

サーバにログオンするためのパスワード。

 デフォルトでは、「監視オプション」ダイアログボックスの「監視オプション」タブにあるログインの定義に従って、ログインデータが表示されます。

「ログインデータについてのヘルプ」リンクをクリックすると、ログインデータに関するヘルプ情報が表示されます。

3.3 ServerView System Monitor を閉じる

ServerView System Monitor を閉じると、次のダイアログボックスが表示されます。「はい」をクリックすると ServerView System Monitor が終了します。これによりシステム監視が停止します。



ServerView System Monitor を閉じても「監視オプション」ダイアログの「アラームオプション」タブでアラームが設定されている場合、アラームが鳴ります。

さらに、「監視オプション」ダイアログの「メール」タブでメール通知が有効な場合、メールが送信されます。

3.4 監視オプションの定義

監視オプションは「**監視オプション**」ダイアログボックスで設定します。

1. メインウィンドウの「**オプション...**」ボタンをクリックしてダイアログボックスを開きます。
2. 「**監視オプション**」タブを選択して、メインウィンドウの表示形式、更新間隔、ログインデータを定義します。
3. 「**アラームオプション**」タブを選択して、アラーム設定を定義します。
4. 「**メール**」タブを選択してメール設定を定義します。
5. 「**Ok**」をクリックして設定を確定するか、「**キャンセル**」をクリックして、変更内容を保存せずに「**監視オプション**」ダイアログボックスを閉じます。



上記の手順の詳細は [13 ページの 監視オプション\(ダイアログボックス\)](#) あるいは監視オプションダイアログボックスタブのオンラインヘルプを参照してください。

3.5 システム情報の表示

システム情報を表示するには、次の手順に従います。

1. メインウィンドウで「**詳細 ->>**」ボタンをクリックします。
2. 「**システム**」をクリックして、システム、システムボードおよびベースボードマネジメントコントローラの情報を表示します。
3. 「**環境**」をクリックしてファンおよび温度センサの情報を表示します。
4. 「**電源**」をクリックして電源およびパワーレベルの情報を表示します。
5. 「**外部記憶装置**」をクリックして、ServerView RAIDシステム、RAID アダプタ、RAID 論理ドライブ、RAID 物理ディスク、および S.M.A.R.T. の情報を表示します。
6. 「**システムボード**」をクリックして、電圧、メモリモジュール、システムプロセッサ、BIOS セルフテストおよび PCI スロットの情報を表示します。
7. 「**ネットワーク**」をクリックしてネットワークアダプタに関する情報を表示します。
8. 「**ドライバモニタ**」をクリックして管理されるコンポーネントに関する情報を表示します。



システム(サーバ種別、ハード構成、ServerView Agents バージョン等)によっては、表示されない情報があります。

3.6 ステータスアイコン

次のリストに、ステータスアイコンとその意味を示します。

	OK: すべてのコンポーネントが正常です。
	警告: 1 つ以上のコンポーネントのステータスが警告です。
	異常: 1 つ以上のコンポーネントにエラーがあります。
	管理不可: ServerView マネージャが応答していません。
	調査中: 調査プロセス実行中のステータスです。
	不明: ネットワーク経由でサーバにアクセスできません。
	コンポーネントを使用できません。

テーブル 1: ステータスアイコン

